



地域の活性化に向け、交流人口拡大に資する観光振興事業を支援しています。

MENU

Withコロナ／ポストコロナの「ニューノーマル」を目指す新たな観光支援を積極支援！！

1. 観光産業の事業化・成長支援

観光地域づくりへの支援および古民家再生・活用、ツアーの企画、観光ガイドの育成等により観光関連産業の成長を支援しています。

2. インバウンド推進支援

ポストコロナを見据え、地域の交流人口拡大に向けたインバウンドの推進や観光コンテンツの開発などに取り組む事業者を支援しています。

3. 観光客受入体制整備支援

七十七グループで連携し、インフラ整備や街づくりの提言などの観光客の受入体制整備を支援しています。



ポストコロナにおける「ワーケーション」を推進し、大都市圏等から宮城県への人の流れを創出することによる地域経済の活性化を推進する観点から、「宮城ワーケーション協議会」に参画しています。

Withコロナの環境下における観光振興支援の一環として、仙台市が実施する東北域内周遊促進キャンペーン「旅ごろ東北」のプロモーションに協力しています。



東北観光金融ネットワーク（愛称「FINE+ 東北」）の取組み

2017年に当行、青森銀行、秋田銀行、岩手銀行、山形銀行、東邦銀行の東北地銀6行と日本政策投資銀行が「観光振興事業への支援に関する業務協力協定」を締結し設立したネットワークです。活動の一環として、ポストコロナを見据えた東北地域における観光産業の更なる発展可能性を整理した「共同調査レポート」を2020年10月に発行しています。

① 「FINE+ 東北インスタグラムフォトコンテスト」の開催

東北地域の観光産業の活性化および魅力発信を目的に、東北観光金融ネットワークの取組みの一環として「第2回 FINE+東北インスタグラムフォトコンテスト」を2019年11月から2020年3月末まで開催しました。本取組みは、2019年4月から8月末まで開催した第1回が好評であり、継続開催したものです。



宮城県 一目千本桜



宮城県 刈田岳山頂

② 「むつめく TOHOKU ラボ」の取組み

2018年3月、東北観光金融ネットワーク、仙台三越、東北博報堂の三者で、地域産業の発展等を目的とした業務協力協定を締結し、「むつめく TOHOKU ラボ」を立ち上げました。

東北の地域資源を活用した新たな地域ブランドへの磨き上げと販売促進を通じた地域産業の発展・観光振興に取り組んでいます。



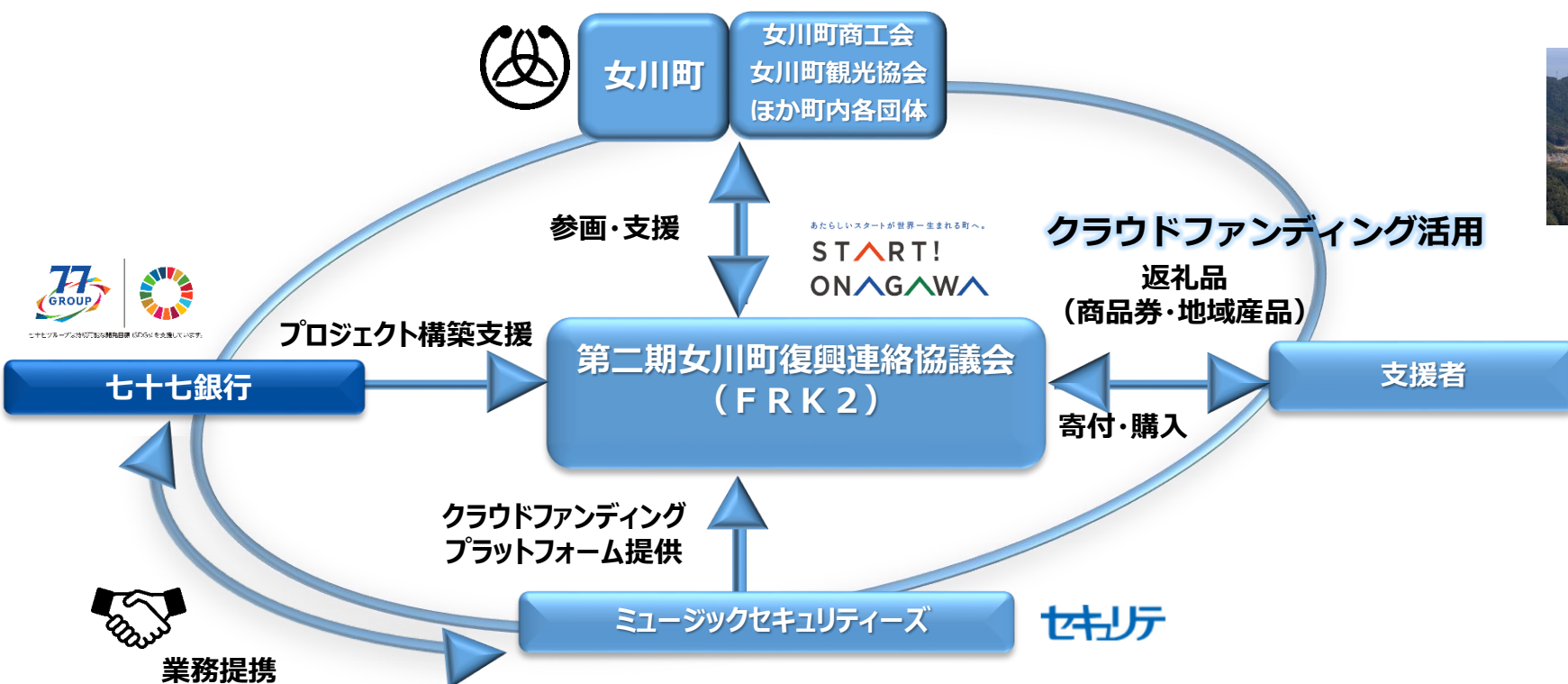


●女川町へのクラウドファンディングを活用した復興支援

「新たな観光様式」の構築を通じ、ファンとともに地域を支援！！

東日本大震災で被害を受けた女川町は、観光客を誘致すべくまちづくりのプロジェクトに注力していましたが、新型コロナウイルスによる外出自粛により大きな影響を受けていました。

当行は復興および地方創生に資する観光客誘致に向けた新たな取組みとして、地方公共団体等が組成するクラウドファンディングについて、当行ビジネスマッチング提携先と連携したスキームで取組みを支援しています。

**START AGAIN !
ONAGAWAプロジェクト**

新型コロナウイルス収束後に女川町へ訪れる観光客が利用できる先払い型の商品券や地域産品をリターンとして、女川町内事業者への応援を募ったプロジェクト。

実施期間
2020年6月1日～2020年6月30日

画像提供：ミュージックセキュリティーズ株式会社

震災復興への取組み
協議会の発足

コロナによる
観光客減

自治体と企業の
課題共有

観光施策の実践

①復興の強化 ②Withコロナを乗り切るための資金確保 ③女川町の魅力PR